

東京大学情報理工と民間企業 4 社が個人データを用いた
認証及び解析技術の発展に向けて協力
—ライフスタイル認証に関する社会連携講座を開設—

2018 年 10 月 10 日

東京大学大学院情報理工学系研究科

三菱 UFJ ニコス株式会社

凸版印刷株式会社

三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社

株式会社日立製作所

国立大学法人 東京大学(総長:五神真、以下、東京大学)大学院情報理工学系研究科(研究科長:石川正俊、以下、情報理工)は、ライフスタイル解析を活用した次世代個人認証技術の確立とその社会実装に向け、三菱 UFJ ニコス株式会社(代表取締役社長:井上治夫、以下三菱 UFJ ニコス)、凸版印刷株式会社(代表取締役社長:金子眞吾、以下凸版印刷)、三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社(取締役社長:牧野 友明、以下 MDIS)、株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原敏昭、以下日立)の 4 社と共同で、「次世代個人認証・行動解析技術社会連携講座」を平成 30 年 8 月 1 日に開設、今後 5 年間に亘り、研究開発を進めてまいります。この「次世代個人認証・行動解析技術社会連携講座」は、平成 25 年にソーシャル ICT 研究センター(当時センター長:國吉康夫、現センター長:中田登志之)に設立された「次世代個人認証技術講座(三菱 UFJ ニコス寄付講座)」*1における研究方針および研究成果を引き継ぎ、社会イノベーションの先導を目指すものです。

近年、電子商取引の利用の拡大は目覚ましいものがある一方、クレジットカードの不正利用等も同じように増加している傾向があり、まだまだ抜本的解決策が見つからない現実があります。先の次世代個人認証技術講座は、この点について世界的にも先駆的な取り組みとして、知識・所持・身体的特徴に続く第四の認証手法であるライフスタイル認証という新たな認証手法の研究を精力的に続けて参りました。この手法の学術的な検討を深耕していくと共に、真に利用される技術として展開していくために、今回の社会連携講座を発足いたしました。あわせて、このようなライフスタイルを見いだすためのライフログデータに関する解析技術は、AI技術の普及と共に目覚ましい発展が求められています。この発展により、より個人の趣味趣向やライフスタイルに沿ったサービスの提供が可能となります。

本社会連携講座は、中田登志之特任教授(兼担:ソーシャル ICT 研究センター センター長 教授)、及び、旧次世代個人認証技術講座にて研究を遂行してきた山口利恵特任准教授が運営・研究開発に従事します。

また、国内でのサービス展開に大きな実績を持つ三菱 UFJ ニコスと凸版印刷が本研究の必要性やビジネス展開を検討、日本を代表するシステム開発実績を持つ MDIS と日立が基盤を構築し、国内外の社会基盤となったインターネット上での簡便な認証を基盤とした社会システムの実現を行います。この社会システムの構築は、東京大学、システム開発企業、並びに、サービス企業が連携して一気通貫を目指すことのできる世界でも類を見ない研究プロジェクトとなりました。このようなサービス展開を行うことで安全・安心、快適な社会の実現に貢献します。

*1 https://www.u-tokyo.ac.jp/focus/ja/press/p01_250327.html

以上